



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2017.10

No.403

日本野鳥の会 埼玉

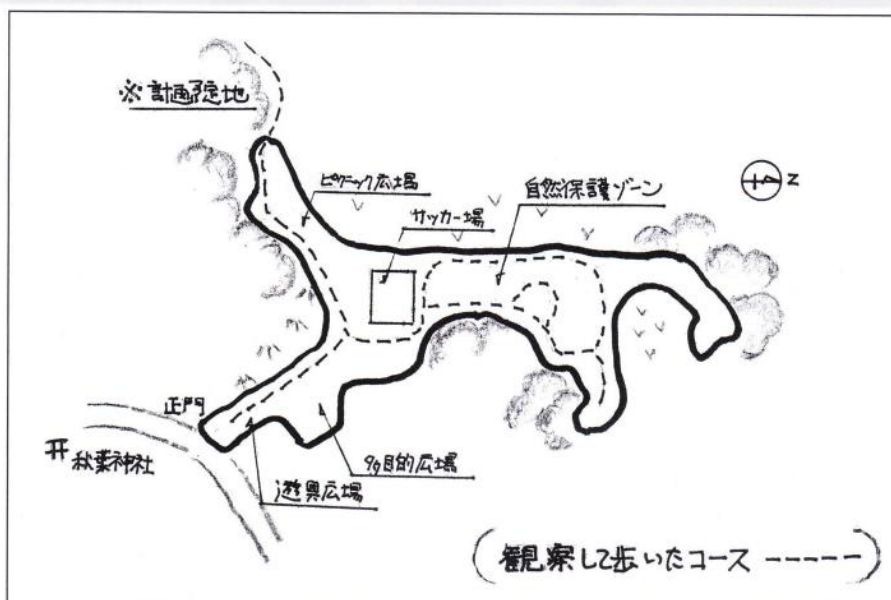
S H I R A K O B A T O



鳥と出会う貴重な場所

秋葉の森 総合公園

今村富士子(さいたま市)



さいたま市西区、自宅より 20 分程の所に「秋葉の森総合公園」があります。水辺・湿地・林、周辺には公園予定地もあり自然豊かな場所です。公園の近くに来ると心地よい空気を感じます。

初めての感動の出会いにはヤマガラでした。自然保護ゾーンの通路、足下でヤマガラを見られ、嬉しく感動しました。

2012 年 12 月の中旬ごろから記録をつけ、2017 年 7 月下旬までの結果を季節ごとにまとめました。右ページです。その中から、最近出会った感動の鳥たちをご紹介します。

まずはトラツグミです。今年は 5 回出会う

ことができました。ここでこんなに見られるとは思いませんでした。

2 月 8 日昼、保護ゾーンを回り終わるころです。水辺の近くで動きがあり、スコープで覗くとトラツグミ！逃げないことを祈りながら見やすい所へ移動。木の根元辺りで餌を探しながら体を上下に振り動かしていました。時々餌を食べますが、食べていない時もあります。上下運動は続き、不思議な動作をじっくり観察できました。

2 月 11 日昼頃、また水辺で首を伸ばし、水を飲むトラツグミ。伏せて歩き出し、すぐに池の奥へと飛んで行ってしまいました。何度も会えてうれしい限りです。





次にゴジュウカラです。

昨年の11月7日にゴジュウカラを見ました。公園の鳥仲間が教えてくれました。

高い木の枝で動き回り、見るのも大変で首が痛くなるほど上を向き探

しました。本当にいました！ 秋葉の森、すごいところですよ。

ゴジュウカラは、今年になっても出てくれて、今冬最後に見たのは2月10日昼でした。保護ゾーン入口付近で、木から木へ飛んだり幹を突っついたり、忙しく動いていました。

ゴジュウカラを昨年から今年にかけて、6回も秋葉の森で見られて感動です。

そしてヒクイナです。今年の夏7月20日朝6時半ごろ、ピクニック広場で、ヨシの中から大きな音？ 声？ 何だろう？ 足を止めて聞いていると特徴的な声です。こちらまでドキドキしました。録音もできて自宅で調べてみるとヒクイナらしいです。

姿が見たくて翌日の朝に行きました。残念ながら声もしません。朝に集まったのは、公園の仲間と散歩のご夫婦と私です。4人でヒクイナの話をしてなんだか楽しかったです。

秋葉の森総合公園は、沢山の鳥たちが立ち寄る場所です。それは貴重な自然が残されていたからです。先人たちが残してくれた貴重な場所、この自然環境を守ることが大事であると気づかされました。

※交通

JR川越線 西大宮駅下車 徒歩30分

JR川越線 指扇駅下車 徒歩30分

JR大宮駅西口⑧番バス乗り場より東武バス[平方・丸山公園行]で「秋葉入口」下車 徒歩15分

※野鳥の写真は、秋葉の鳥仲間K・Iさんよりご協力をいただきました。

番号	鳥種	春 3~5月	夏 6~8月	秋 9~11月	冬 12~2月
1	コジュケイ	○	○	○	○
2	キジ	○	○	○	○
3	オカヨシガモ			○	
4	マガモ	○		○	○
5	カルガモ	○	○	○	○
6	コガモ	○		○	○
7	キンクロハジロ			○	
8	カイツブリ	○	○	○	○
9	キジバト	○	○	○	○
10	カワウ	○	○	○	
11	アオサギ	○	○	○	○
12	ダイサギ	○	○	○	○
13	コサギ	○			○
14	クイナ	○			○
15	ヒクイナ		○		
16	バン	○			○
17	ホトトギス			○	
18	ツツドリ			○	
19	コチドリ	○	○		
20	トビ	○		○	○
21	ツミ	○			
22	ハイタカ	○		○	○
23	オオタカ	○	○	○	○
24	ノスリ	○		○	○
25	カワセミ	○	○	○	○
26	アリスイ	○		○	○
27	コゲラ	○	○	○	○
28	アカゲラ	○		○	○
29	アオゲラ	○			○
30	チョウゲンボウ			○	
31	モズ	○	○	○	○
32	カケス	○		○	○
33	オナガ	○	○	○	○
34	ミヤマガラス				○
35	ハシボソガラス	○	○	○	○
36	ハシブトガラス	○	○	○	○
37	ヤマガラス	○		○	○
38	シジュウカラ	○	○	○	○
39	ヒバリ	○	○		
40	ツバメ	○	○	○	
41	ヒヨドリ	○	○	○	○
42	ウグイス	○	○	○	○
43	エナガ	○	○	○	○
44	エソムシクイ	○			
45	センダイムシクイ	○			
46	メジロ	○	○	○	○
47	オオヨシキリ	○	○		
48	セッカ		○		
49	ゴジュウカラ			○	○
50	ミソサザイ				○
51	ムクドリ	○	○	○	○
52	コムクドリ	○			
53	トラツグミ	○			○
54	シロハラ	○		○	○
55	アカハラ	○		○	○
56	ツグミ	○		○	○
57	ルリビタキ	○			○
58	ジョウビタキ	○		○	○
59	エソビタキ			○	
60	キビタキ	○	○	○	
61	スズメ	○	○		○
62	キセキレイ	○		○	○
63	ハクセキレイ	○	○	○	○
64	セグロセキレイ	○	○	○	○
65	ビンズイ	○		○	○
66	タヒバリ	○			
67	アトリ	○		○	○
68	カワラヒワ	○	○	○	○
69	ベニマシコ	○		○	○
70	ウソ	○			○
71	シメ	○		○	○
72	イカル	○			
73	ホオジロ	○	○	○	○
74	カシラダカ	○		○	○
75	アオジ	○		○	○
76	オオジュリン	○			○



野鳥情報

さいたま市緑区上野田 ◇4月14日、見沼自然公園脇の農道を走行中、車窓から桜の木にいるコムクドリ♂1羽を見る。実にきれい(鈴木紀雄)。

さいたま市浦和区木崎3丁目 ◇4月20日、見沼代用水の斜面林でシメ10羽、アトリ10羽が樹間を動き回り、地上にはムクドリ、ツグミ。ふと見るとコサメビタキ2羽がヒラヒラ飛んでいた。他にシジュウカラ、アオジ、ツバメ。5月1日、エゾムシクイの声。キビタキ♂1羽が現れ、更に他の2ヶ所で声がする。ツグミ、シメがまだいた(鈴木紀雄)。

蓮田市関戸 ◇4月21日早朝、見沼代用水の桜並木(N36.0107 E139.6320)で6羽のコムクドリが採餌していた(下写真)。4月29日、ツミがレース鳩を追いかけたが逃げられた(N36.0101 E139.6393)。4月30日、見沼代用水沿いの神社(N36.0060 E139.6376)でキビタキ♂1羽、囀る。同日、久伊豆神社境内(N36.0058 E139.6375)の木でキビタキ♂1羽、囀っていた。5月2日、屋敷林(N36.0068 E139.63579)でキビタキ♂1羽、囀る。5月4日、屋敷林(N36.0128 E139.6303)でキビタキの囀り(関口明宏)。



岩槻区金重(5339-7564) ◇4月23日、ムナグロを探していたところ、セイタカシギ10羽を観察した。長年この地域(元荒川を挟んだ蓮田・岩槻地区)を歩いているが、ここでセイタカシギを観察したのははじめて。カルガモ、チュウサギ、ダイサギ、コチド

リ、セグロセキレイ、ハクセキレイ、ツグミ、ハシボソガラスを同時に観察した(田中幸男)。

さいたま市岩槻区掛 ◇4月24日、水の入り始めた田んぼでダイサギ1羽、チュウサギ2羽、ムナグロ2羽。5月6日、ムナグロ♂2羽♀2羽、コチドリ2羽。5月8日、キアシシギ2羽、ムナグロ4羽。5月14日、キアシシギ2羽、ムナグロ42羽(鈴木紀雄)。

蓮田市黒浜 ◇4月24日、国立東埼玉病院内の林でキビタキ♂1羽が横枝の上でのんびり羽づくろい。シメ、カケス。森の小径をコジュケイ2羽が横切る(鈴木紀雄)。

蓮田市西城沼公園 ◇4月25日、カケス4羽がナラ林から飛び出し、かたまって西に飛んだ。さらに4羽がナラ林で枝移り。ここで8羽のカケスを同時に見たのは初めてだ。屋敷林からタカの声が響いた。オオタカかも? 4月30日、久しぶりにコジュケイの鳴き声を聞いた。電線にいたモズが畑に飛び降り、何かを捕まえて飛んで行った。5月1日、カケス4羽、ナラ林で今季の終認。モズが畑で何かを捕まえた。5月5日、コジュケイが久しぶりに囀った。5月7日、コアジサシ1羽、西沼で今季初認。5月10日、カワセミが抱卵中。明日辺り孵化するかも? ツミが屋敷林の上空を鳴きながら飛びまわった。5月12日、ツミ♀若鳥が屋敷林の一本杉の天辺に30分もとまっていた。5月15日、ツミ♀若鳥が屋敷林にいた。営巣か? エナガ20羽の群れが垣根を移動した。5月22日、東沼のヨシ原で数羽のオオヨシキリが囀っていた。シジュウカラの巣立ち雛5~6羽の中に腹部が茶色の小鳥が1羽いた。ヤマガラのようなだった(長嶋宏之)。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇4月26日、キビタキは毎日のように入ってくるが、今日はオオルリ♂をゆっくりと観察できた(内田克二)。

さいたま市岩槻区高曽根 ◇4月27日、ケリ1羽。6月16日夕方、ケリが警戒の声を発していたので、見上げるとオオタカが上空を舞っていたが、そのまま去って行く。ダイサギ13羽が次々に南へ飛ぶ。「コウ、コウ」

という声が聞こえるので、探したところ、水田の稲の苗の間にタマシギ♀1羽。他にコサギ4羽など(鈴木紀雄)。

吉見町八丁湖公園 ◇4月28日午前、センダイムシクイ1羽。声を頼りに姿も確認(榎本秀和)。

蓮田市川島 ◇4月30日、田んぼの畔にキアシシギ1羽(鈴木紀雄)。

さいたま市見沼区宮ヶ谷塔 ◇5月4日午前7時、ムナグロ81羽+、ダイサギ1羽、コサギ1羽、ツバメ。去年、今年とムナグロの渡来数が激減している(本多己秀・久文子)。

岩槻区長宮 ◇5月5日、チュウシャクシギ3羽がムナグロ5羽と一緒に行動していた(内田克二)。

蓮田市駒崎N36.0161 E139.6268 ◇5月6日、屋敷林でキビタキの囀り(関口明宏)。

幸手市中川河川敷(5439-0691) ◇5月7日、チョウゲンボウ1羽、ツバメ11羽、ホオジロ1羽、シジュウカラ2羽、ハクセキレイ1羽、セグロセキレイ2羽、オオタカ1羽、カルガモ4羽、アオサギ1羽、オオヨシキリ(荒川貴之)。

さいたま市中央区八王子5丁目 ◇5月8日朝、かやのき団地8号棟庭のイチョウの木でセンダイムシクイ1羽。小さな体に似合わぬほどの大きな声で「焼酎一杯グイー」を繰り返し、枝移り。ちなみに当団地での確認は、ほぼ20年ぶりだが、毎年寄って来てはいるのかも(大塚純子)。

さいたま市岩槻区平林寺 ◇5月9日午前6時30分、ムナグロ19羽、ゴイサギ、オナガ2羽。ツミ2羽、カラスにモビングされる。コルリの声、渡りの途中か?(本多己秀・久文子)。

白岡市篠津N36.0390 E139.6614 ◇5月9日、田んぼでムナグロ10羽が採餌していた。5月11日、田んぼの畔でムナグロ7~8羽が休んでいた(長嶋宏之)。

加須市加須はなさき公園 ◇5月9日、ポート池でコアジサシがダイビングを繰り返していた。ヨシ原で数羽のオオヨシキリが大きな声で囀っていた。他に、ホオジロ、セ

野鳥記録委員会の最新情報

日本野鳥の会埼玉 野鳥記録委員会

●ムラサキサギ

英名 Purple Heron

学名 *Ardea purpurea*

分類 ペリカン目サギ科アオサギ属



海老原美夫会員(さいたま市)から、2017年6月11日にさいたま市西区内の水田で撮影した上掲写真が寄せられました。当委員会では写真を検討したところ、第1回夏羽に換羽途中のムラサキサギ若鳥と確認したので発表します。本種の、当県内での写真を伴う記録としては、1990年4月28日の戸田市(本誌1990年6月73号)、2013年5月23日の朝霞市(本誌2013年9月353号)に続く3例目となります。

本種は、日本国内では南西諸島南部の先島諸島に亜種の *A. p. manilensis* が周年生息しますが、今回の観察例のように、それ以外の地域(北海道、本州、九州、四国など)にも希に渡来することもあり、「日露渡り鳥条約」・「日中渡り鳥協定」の指定種になっています。

ツカ、ヒバリ、タカ不明種、チュウサギ、ダイサギ、カワラヒワ等(長嶋宏之)。

蓮田市馬込 ◇5月11日朝、屋敷林でキビタキ、当地ではとても珍しい。5月12日午前8時30分、キビタキ、ツミ(本多己秀・久文子)。

蓮田市貝塚 N36.0174 E139.6454 ◇5月12日、田んぼでムナグロ10羽。その中にキアシシギが1羽。今季初認(関口明宏)。

さいたま市西区島根 ◇5月14日、キアシシギ9羽、チュウシャクシギ1羽、アオサギ、アマサギ、コチドリ、ツバメ、ヒバリなど(大塚純子)。

吉見町中新井 ◇5月16日昼過ぎ、田植えの終わった水田でムナグロを確認(大畑祐二)。

久喜市菖蒲町下栢間 ◇5月16日午後12時30分、自宅にてカッコウの初音。6月19日午前7時15分、イカルチドリ1羽(擬傷)。圏央道南側の農道の端や畔で鳴きながら負傷のしぐさ。近くに糞置き場があり巣があるのか。カラスも2羽、近くの地面にいた(小貫正徳)。

吉見町本沢 ◇5月17日昼過ぎ、水田でチュウサギ(大畑祐二)。

草加市内 ◇5月18日、イソヒヨドリ1羽(花澤順子)。

鴻巣市大間1丁目 ◇5月21日午前7時頃、上空をハチクマが旋回。空の高みに達して南西方向に流れる。同日午後7時45分ごろ、「トッキョキョカキョク…」と二声。ホトトギスが鳴きながら渡っているようだ。今季の初音(榎本みち子)。◇5月29日午前6時30分ごろから2時間近く、ハクセキレイの巣立ち雛1羽が人家の屋根の上で、「チチチチッ」と鳴いている。尾の長さは成鳥の半分ぐらいしかないが、振り方はもう一人前。同日午前7時40分、カッコウが飛来。電線にとまって鳴きだすと、ツバメ夫婦?がしきりにモビング。10分ほどで飛び去る。当地周辺でのカッコウ観察は2006年以来、実に11年ぶり。うれしくなった(榎本秀和)。◇6月18日午後11時50分頃、雨上がりの闇の奥から、「ブッキョッコー」という甲高い声が連続して聞こえてきた。これってまさかのコノハズク。5分ほどで声はやんだ。翌朝、近所の知人からも「聞いた!」との情報あり(榎本秀和・みち子)。

春日部市倉常 ◇5月21日、田んぼの畔にキアシシギ6羽の小群(鈴木紀雄)。

熊谷市中央 ◇5月22日深夜、正確には23日の未明。なんとなく寝付けず布団の上でゴロゴロしていた。すると、窓の外からホトトギスの声が!! 図鑑で調べると夜でも鳴くとのこと。暫し耳を傾ける。ますます寝付けない(大畑祐二)。

桶川市若宮 ◇5月24日午後6時55分、自宅屋上のTVアンテナで「カッコウ カッコウ」の大きな声でびっくり、今年初めての確認。その後北の方角へ飛んでいった。今年も来てくれたので安心した。毎朝の様に自宅ベランダからオナガを追っかけるツミの「キキキー」の声と精悍な姿を見る。7月24日午前中、カッコウが家の前で大騒ぎ(下写真)、まるで戸隠の朝みたい。毎朝カッコウの声で起こされます(立岩恒久)。



坂戸市西坂戸 ◇5月27日午前11時30分頃、西坂戸調整池近くを歩行中、ホトトギスの鳴き声を今季初めて聞く。坂戸市と毛呂山町の堺沿いの森に、毎年5月中旬に飛来する(増尾 隆)。

桶川市後谷公園調整池 ◇5月27日午後3時30分、コアジサシ4羽、今季初認(小貫正徳・とみ子)。

久喜市菖蒲町柴山枝郷 ◇6月4日午後4時55分、オオタカ1羽(小貫正徳)。

表紙の写真

スズメ目ヒタキ科キビタキ属キビタキ♀

昨年10月22日に撮影。秋の渡りの途中、岩槻文化公園で数日過ごしていました。

榮 武男(春日部市)



行事案内



ミサゴ (編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：中学生以下無料、会員100円、一般200円。

持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意をお願いします。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：10月1日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

交通：JR高崎線 北本駅西口から、北里メディカルセンター病院行きバス8:36発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大坂、大畑、岡安、近藤、柴田、立岩、飛田、内藤、永野、村上、山野、吉原(早)

見どころ：秋はタカ！ 去年は青空をバックに、ミサゴ、ノスリ、サシバにトビ4羽が加わり、合計7羽のタカ柱が見られました。ヒタキ類にも期待しましょう。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：10月1日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き8:37発で「念仏橋」下車。

担当：伊藤、大井、須崎、高崎、手塚、野口、藤田、若林

見どころ：待ちに待った秋の渡りのシーズンが始まります。何が来てくれるかな？ 楽しみです。去年はツツドリを全員でゆっくり観察、サシバも姿を見せてくれました。

ご注意：状況によっては、コースを変更する場合があります。コース途中でトイレがありません。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：10月8日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道 大麻生駅前。

交通：秩父鉄道 熊谷9:09発、または寄居8:50発に乗車。

担当：新井、鶴飼、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上、茂木

見どころ：さわやかな風の中、秋の渡り鳥を探しましょう。3年ぶりにノビタキに会えるよう、草原中心のコースを歩きます。

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：10月14日(土)

集合：午前8時10分、東武日光線 柳生駅前。または午前8時30分、中央エントランス駐車場。

交通：東武日光線 新越谷7:19→春日部7:36→南栗橋7:53→柳生8:07着。またはJR宇都宮線 大宮7:03→栗橋7:38着で東武日光線に乗り換え、柳生8:07着。

解散：正午ころ、谷中村史跡ゾーン。

担当：佐野、植平、佐藤、進士、田邊、玉井、野口、山田、入山

見どころ：遊水地は最もいい季節です。戻ってきたばかりのチュウヒやミサゴ、そしてカモたちを、谷中湖を中心に探します。ピギナーの方も大歓迎です。

第12回 Young 探鳥会 東京都日野市・多摩動物公園 (要予約)

期日：10月14日(土)

詳細は9月号をご覧ください。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：10月15日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線 北浦和駅東口、集合後路線バスで現地へ（ご注意：案内人は8時過ぎに北浦和駅東口到着予定です）。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：須崎、浅見(健)、浅見(徹)、楠見、小菅、新部、畠山、増田

見どころ：秋の渡りも終盤になりますが、10月は「ノビタキ探鳥会」です。ここ2年観察しています。ノビタキを求めて芝川沿いを歩く予定です。木陰等はありませんので、暑さ対策を忘れずに。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：10月21日(土) 午後3時～4時ころ

会場：会事務局108号室

長野県・戸隠高原探鳥会(要予約)

期日：10月21日(土)～22日(日)

詳細は9月号をご覧ください。

行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：10月22日(日)

集合：午前8時30分、県立さきたま史跡の博物館前レストハウス。

交通：JR行田駅東口から、行田市内循環バス・観光拠点コース左回り7:55発で「埼玉古墳公園前」下車、徒歩約2分。

担当：相原(修)、相原(友)、大坂、岡安、竹山、立岩、内藤、村上、茂木

見どころ：いよいよ待ち望んだ冬鳥の季節がやって来ます。古墳公園と周辺の農村地帯でジョウビタキの今季初認を目指しましょう。

ご注意：バス時刻変更により開始時間が1時間早まりました。

松伏町・まつぶし緑の丘公園探鳥会

期日：10月29日(日)

集合：午前9時、松伏町まつぶし緑の丘公園

管理棟前。

交通：東武伊勢崎線 せんげん台駅東口、茨急バス③番乗り場から松伏町役場行き8:48発で「まつぶし緑の丘公園」下車。

担当：橋口、植平、榎本(建)、佐藤、佐野、進士、田邊、野村、森下、山部、吉岡

見どころ：公園の池にカモ7種がそろっていることでしょうか。古利根川では、いつものイカルチドリ、コチドリ、イソシギが待っているでしょう。去年は40種を記録。



さいたま市との共催イベントのご案内です。

みぬま秋フェス 2017 in さぎ山

期日：10月28日(土)、29日(日)

時間：両日とも10時～15時ころの予定

会場：さぎ山記念館周辺(さぎ山記念公園内)

主催：見沼・さぎ山交流ひろば*

プログラム(当会実施分)

- ① 鳥の羽根ってスゴイ！(展示)：当会会員のコレクションを借用し、拡大鏡で観察したり、手で触れたりして鳥の羽根の構造や機能を学びます。
- ② 親子ミニ探鳥会：開催期間中、計4回(各日午前・午後各1回)実施。時間は長くても1時間程度です。さぎ山記念公園～見沼自然公園の池を往復し、カモや身近な鳥を観察します。開始時刻等は、後日当会ホームページでお知らせします。
- ③ 探鳥グッズの販売：普段の探鳥会では並ばない野鳥の会オリジナル商品なども登場！人気の「野鳥の会 長靴」の試着もできます。

ご近所の方やお知り合いの方とお誘い合わせの上、是非ともご来場ください。農産物の直売などもありますよ！

※「見沼・さぎ山交流ひろば」とは：見沼たんぼを活動地域とする色々な市民団体とさいたま市が一緒になって運営する組織です。日本野鳥の会埼玉も運営協議会会員として参加しています。詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.minumatanbo-saitama.jp/interact.htm>



行事報告

2月19日(日) さいたま市 三室地区

参加: 49名 天気: 晴

キジ カイツブリ キジバト カワウ イカルチドリ セグロカモメ トビ オオタカ ハヤブサモズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ (25種) (番外: ドバト) 天気晴朗なれど風強し。1週間前の下見と同様、本番でもカモ類ゼロ、オオバンゼロ、サギ類ゼロ。こんなことは、三室の探鳥会始めて以来のことでは! オオタカ、ハヤブサ、それにここでは珍鳥のトビに会えたので、まあまあ満足。(浅見 徹)

2月25日(土) さいたま市 岩槻文化公園

参加: 58名 天気: 晴

ヒドリガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ オオバン イカルチドリ タシギ イソシギ セグロカモメ カワセミ アリスイ コゲラ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ アカハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ アトリ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (40種) (番外: ドバト) 出発直後の水場で清掃作業が行われていたが、間もなくシジュウカラ、ヤマガラ、コゲラの混群が現れた。テストコースでは目玉のアリスイが見られ、元荒川ではヒドリガモの群れにアメリカヒドリの交雑種がいて、識別で盛り上がった。(長野誠治)

2月25日(土) 東京都 葛西臨海公園 Ladies

参加: 15名 天気: 晴一時雨

オカヨシガモ ヒドリガモ カルガモ ハシビロガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ スズガモ ホオジロガモ ミコアイサ ウミアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ ミミカイツ

ブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ コサギ ヘラサギ クロツラヘラサギ クイナ オオバン ミヤコドリ アオアシシギ イソシギ ユリカモメ ズグロカモメ カモメ セグロカモメ ミサゴ トビ オオタカ ノスリ カワセミ コゲラ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ トラツグミ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ アトリ カワラヒワ アオジ オオジュリン (56種) (番外: ドバト) 第3回目のレディース探鳥会。西渚でにわか雨に遇ったが、その後は青空が広がり、ゆったりと探鳥会を楽しむことができた。西渚ではフィールドガイド片手に、クロツラヘラサギとヘラサギが並んで採餌している様子が間近に観察出来た。またカンムリカイツブリやハジロカイツブリの夏羽を見ることができ春の訪れを感じた。(菱沼洋子)

2月26日(日) 本庄市 坂東大橋

参加: 11名 天気: 晴

コジュケイ オカヨシガモ マガモ カルガモ オナガガモ コガモ ホオジロガモ ミコアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン ミサゴ トビ ハイタカ ノスリ カワセミ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ ホオジロ カシラダカ (36種) 絶好の探鳥日和なのに、参加者まさかの11人。ヒバリが盛んにさえずるが、鳥の出は芳しくない。ノスリにモビングするハイタカが見られ、河原ではミサゴが上空を旋回してくれた。カモは7種と寂しいが、ホオジロガモの群れが順光で綺麗だった。名物のヨシガモがいないのはどうしたのだろう。最後にチョウゲンボウが現れて締めくくってくれた。(新井 巖)

3月4日(土) 行田市 さきたま古墳公園

参加: 35名 天気: 晴

カルガモ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ クイナ バン トビ オオタカ ノスリ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウ

グイス メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ
 ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ
 セグロセキレイ ビンズイ アトリ カワラ
 ヒワ シメ ホオジロ ホオアカ カシラダカ
 アオジ オオジュリン (37種) 南側の林では5
 年振りにビンズイが現れ、アトリ40羽が地面で採
 餌し、傍にはシロハラも。神社の森ではオオタカ、
 水路ではキセキレイ、セグロセキレイ。川沿いの
 散策路を進むと田圃の畔にホオアカ2羽、ヨシ原
 ではオオジュリンやカシラダカ、バンやクイナの
 声も聞かれカワセミが何羽も現れた。(相原修一)

3月4日(土) 戸田市 彩湖

参加:36名 天気:晴

キジ マガモ カルガモ ハシビロガモ コガモ
 ホシハジロ キンクロハジロ ホオジロガモ ミ
 コアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ ハ
 ジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ
 ダイサギ クイナ オオバン ユリカモメ セグ
 ロカモメ トビ ノスリ カワセミ コゲラ ア
 カゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス
 シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス エ
 ナガ メジロ ムクドリ シロハラ アカハラ
 ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ
 アトリ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジ
 ロ カシラダカ アオジ オオジュリン (49種)
 (番外:ドバト) 彩湖の天敵?である“風”も
 無く穏やか。気がかりはこれまで見た事が無いほ
 ど水位が低いこと。不安をよそにスタートすると
 早々、カワセミ、クイナのお出迎え、歩みを進め
 ると今度は色づき始めたカンムリカイツブリ。ま
 たホオジロガモもここでは常連。さらには遠方の
 カモ達の群れから♀のミコアイサを発見。アカゲ
 ラには少々意表をつかれるも、最後はこれも定番
 ベニマシコ……と終わってみれば49種! 彩湖の
 “スゴさ”を再認識。(石塚敬二郎)

3月5日(日) 寄居町 玉淀河原

参加:45名 天気:晴

キジ オカヨシガモ マガモ カルガモ オナガ
 ガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ
 アオサギ ダイサギ イカルチドリ クサシギ
 イソシギ ノスリ カワセミ コゲラ モズ ハ
 シボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ
 ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ

ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハ
 クセキレイ セグロセキレイ アトリ カワラヒ
 ワ シメ ホオジロ (36種) (番外:ドバト、ガビ
 チョウ) 荒川河原では、水鳥がいつもの種類は
 見られるが数が減っていた。川沿いの道から川辺
 を見下ろしてもやはり少ない。玉淀河原までも鳥
 数は少なく、橋下でもカモ類が数えるほどなので
 鉢形城入口の鳥合わせ場所まで進んだ。鳥合わせ
 中に猛禽類が出てホッとした。(茂木幸蔵)

3月5日(日) 蓮田市 黒浜沼

参加:37名 天気:晴

キジ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト
 カワウ アオサギ ダイサギ オオバン イカル
 チドリ オオタカ ノスリ カワセミ アカゲラ
 ハヤブサ モズ カケス ハシボソガラス ハシ
 ブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス
 ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワ
 ラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダ
 カ アオジ オオジュリン (33種) スタート直
 後、赤いオスを含む数羽のベニマシコが現れて皆
 の足が止まった。下沼近くの木に止まっているノ
 スリを見ていると飛び出して大空に舞い上がり、
 もう1羽現れて2羽そろって旋回して圧巻だった。
 タンポポが早くも道端に咲き、ウグイスの初鳴き
 も併せて暖かな初春の1日だった。(玉井正晴)

3月7日(火) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加:46名 天気:曇

コジュケイ オシドリ ヒドリガモ マガモ カ
 ルガモ ハシビロガモ コガモ ホシハジロ キ
 ンクロハジロ カイツブリ キジバト カワウ
 アオサギ オオタカ カワセミ コゲラ アカゲ
 ラ アオゲラ モズ カケス ハシボソガラス
 ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒバ
 リ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ トラ
 ツグミ シロハラ ツグミ ジョウビタキ ビン
 ズイ アトリ カワラヒワ シメ ホオジロ ア
 オジ (39種) (番外:ガビチョウ) 平日の公園内
 は野鳥たちが地上に降りていることが多い。今日
 もアトリ、シメ、トラツグミが近い距離でゆっく
 り見られた。枝の上ではヤマガラ、シジュウカラ、
 エナガなど。紅梅や白梅が見頃になっている梅林
 ではジョウビタキ、ビンズイ。山田大沼にはオシ
 ドリの姿もあった。冬の間よく出てくれたルリビ

タキはすでに旅立ったようだ。(中村豊己)

3月12日(日) 熊谷市 大麻生

参加:46名 天気:晴

コジュケイ キジ キジバト トビ オオタカ
コゲラ アカゲラ チョウゲンボウ モズ カケ
ス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウ
カラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ム
クドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ アトリ
カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオ
ジ (27種) (番外:ガビチョウ、ソウシチョウ)
風も強くなく穏やかな日。まだ冬鳥もいるが少な
い感じであったが、猛禽が2種出現。アカゲラが
池の近くに姿を見せてくれた。池の周りでは、い
つも出てくる鳥たちが見られた。(茂木幸蔵)

3月18日(土) 加須市 加須はなさき公園

参加:32名 天気:晴

ヒドリガモ カルガモ コガモ カイツブリ キ
ジバト カワウ アオサギ オオバン カワセミ
コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス
シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ム
クドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ アトリ
カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ オオジュ
リン (27種) 羽音を立てて飛び立つコガモ、青
空をバックに飛翔するヒドリガモの群れ、首を振
りながら泳ぐオオバン、椿の花のメジロ、サー
ビスの良いカワセミ、観察者と睨めっこのシメ、歩
いては胸をはるツグミ、何かを捕まえたモズ、色
の濃いヒヨドリ、林床から舞い上がるアトリの群
れ等、身近な野鳥を十分に楽しめた。(長嶋宏之)

3月18日(土) さいたま市 見沼自然公園

参加:44名 天気:晴

キジ オカヨシガモ ヒドリガモ カルガモ オ
ナガガモ コガモ カイツブリ キジバト アオ
サギ ダイサギ バン オオバン オオタカ ノ
スリ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ モズ
カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジ
ュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス メジロ
ムクドリ アカハラ ツグミ ジョウビタキ ス
ズメ ハクセキレイ アトリ カワラヒワ シメ
ホオジロ カシラダカ アオジ (38種) ビギナ
ー探鳥会と並行開催。ビギナーは公園内、こちら
は公園周辺も含めての探鳥。お目当てのタヒバリ

が出ず、がっかり。それでも、オオタカが舞い、
ヒバリが囀り、キジの雄が美しい尾羽をなびかせ
て飛び出し、終わってみれば38種と満足の探鳥会
だった。(浅見 徹)

3月18日(土) さいたま市 見沼自然公園 Beginners

参加:38名 天気:晴

オカヨシガモ ヒドリガモ カルガモ オナガガ
モ コガモ キジバト ダイサギ バン オオバ
ン ノスリ モズ ハシボソガラス ハシブトガ
ラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジ
ロ ムクドリ アカハラ ツグミ スズメ カワ
ラヒワ シメ (23種) (番外:ドバト) 参加者38
名?! 2班に分けてスタート。まずは恒例「双眼鏡
の使い方」。早速アカハラ等の登場で足止め。そし
て池へ、この公園は水鳥達との距離が近く、まさ
に“初心者向け”。同じ種でも雌雄の違い等を解説
しながらじっくりと観察。公園内を散策するだけ
でも時間が足りない!(石塚敬二郎)

3月18日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア:13名

相原修一、宇野澤晃、榎本秀和、海老原教子、海
老原美夫、大坂幸男、小林みどり、志村佐治、藤
掛保司、松村禎夫、三ッ矢正安、吉原早苗、吉原
俊雄

3月19日(日) 松伏町 松伏記念公園

参加:41名 天気:晴

マガモ カルガモ コガモ カイツブリ カンム
リカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダ
イサギ バン オオバン クサシギ ノスリ カ
ワセミ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス
シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ムクドリ シ
ロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセ
キレイ アトリ カワラヒワ シメ ホオジロ
カシラダカ オオジュリン (32種) (番外:ドバ
ト) 風が強かったが暖かく、地元公民館から3
名の参加者もあり、大盛会。公園の中では水鳥は
少なかったが、カワセミや初めてのアトリなど色
のきれいな鳥の出現に沸き、農耕地ではヒバリの
美声を聞きながらモズやジョウビタキのつぶらな
瞳に見とれていた。当日のハイライトは中川で悠
然と泳いでいた、つがいのカンムリカイツブリ。
毎回何かしらのサプライズがある。(田邊八州雄)



● 渡良瀬遊水地谷中湖の水位低下

利根川上流河川事務所管理課(0480-52-3957)によれば、本年度は例年より水位の低い状態が長く続く予定とのこと。貯水池機場の耐震補強工事のため10月13日頃から水位を下げ始め、11月初めには水深約1mになり、1月上旬から3月下旬までは更に1m下がって例年の干し上げ状態になります。ただし工事が行われない場合は例年通りとなるので、詳しくは上記管理課にお問い合わせください。

● 第27回鳥学講座のお知らせ

テーマ:「夢を運べ、北の島から日本の空へー絶滅から復活の道を歩むシジュウカラガン」

講師: 呉地正行(日本雁を保護する会会長)
日時: 2017年11月4日(土) 14:30~16:00
場所: アビスタ(我孫子市生涯学習センター)
交通: JR我孫子駅南口から「アビスタ・市役所経由」バスでアビスタ前下車。

参加費: 無料

主催・問い合わせ: 我孫子市鳥の博物館(TEL 04-7185-2212)、(公財)山階鳥類研究所(TEL 04-7182-1101)

日本への渡来がほとんどなくなったシジュウカラガンが、日本雁を保護する会を中心として始まった取り組みで、現在は3000羽ほどが渡来するまでになっています。

● 会員の普及活動

7月29日(土)、春日部市庄和市民センター

正風館で、同市庄和地区市民大学参加者の研究論文「春日部市の野鳥」につき、山部直喜が調査対象・調査方法を指導しました。

● 会員数は

9月1日現在1,674人。

活動と予定

● 7-8月の活動

7月24日(月) 県教育会館(さいたま市)で開催された埼玉県カワウ対策協議会に出席(小荷田行男)。県みどり自然課、県水産研究所、森林公園などからの報告で、カワウの生息状況把握。

8月12日(土) 9月号校正(海老原教子、海老原美夫、小林みどり、佐久間博文、志村佐治、長嶋宏之)。

8月20日(日) 役員会(司会: 吉原早苗、10月に都内で開催される関東ブロック協議会への参加者と提案議題・その他)。

8月21日(月) 『野鳥』誌を購読しない会員向け、『しらこぼと』9月号を郵便局から発送(海老原美夫)。

● 10月の予定

10月7日(土) 編集部会。普及部会。

10月14日(土) 11月号校正(午後4時から)。

10月15日(日) 役員会(午後4時から)。

10月21日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

編集後記

3月、ヒアリに右足のふくらはぎ3カ所を刺された。毎年、仲間たちと行っている香港の畦道。事前に仲間らに注意していたが、本人が巣に右足を乗せて立っていた。幸い少し痒いだけだったが、日本でこれだけセンセーショナルに報道されると来年はどのようなかな。外すには実に勿体無い場所なのだ。

(山口)

しらこぼと 2017年10月号(第403号) 定価 200円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉(〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
 郵便振替 00190-3-121130 http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル
 (公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社